

調査項目 「街路樹の維持管理について」

1. はじめに

現在、本市で街路樹が整備されている路線は155路線あり、7,222本の高木が植栽されている。(令和3年度末時点) 主な樹種は、落葉樹でイチョウ、サクラ、ユリノキ、ケヤキ、常緑樹でクスノキなどがあり、素晴らしい並木景観を呈し、市民が愛着と誇りを感じる財産となっている。一方で、多くの街路樹は植栽後数十年が経過し、維持管理費の増大や、大径化した樹木の根上り、枝の張り出し、歩道有効幅員の確保などの課題が顕在化し、適正な維持管理を行うことが求められるようになってきた。

このような背景から、建設水道常任委員会として将来の本市の街路樹のあり方を考えるとともに、「街路樹の維持管理について」を調査テーマとし、視察、研修、意見交換などを実施してきた。

2. 調査経過

| 日 時 | 活 動 | 概 要 |
|---------------------|----------|--|
| R4.11.5 R4.11.12 | 地域別意見交換会 | 「街路樹の維持管理について」をテーマに、グループディスカッション形式で意見交換 |
| R5.1.23 R5.1.24 | 視 察 | ・神奈川県藤沢市 「藤沢市街路樹管理計画」から、今後の街路樹の維持管理を学ぶ ・東京都府中市 「道路等包括管理事業」から、今後の街路樹の維持管理を学ぶ |
| R5.5.22 | 分野別意見交換会 | 「街路樹の維持管理について」をテーマに、「みのお市民まちなみ会議」と意見交換 |
| R5.7.5 | 視 察 | 箕面市内の街路樹の現状を視察 |
| R5.8.23 | 研 修 会 | テーマ「環境共生時代での街路樹のあり方」 講師：増田昇氏 LAまちづくり研究所・所長 大阪府立大学・名誉教授 |
| R5. | 意見書提出 | 「街路樹の維持管理のあり方に関する意見及び要望」 上島市長に提出(予定) |

3. 調査報告

- (1) 神奈川県藤沢市では、「街路樹管理計画」をもとに、中長期的に街路樹を有効に維持管理していることをあらためて実感した。特に、街路樹路線を3つに分類し維持管理していくことは、効果的かつ市民に対しても説明の根拠になっている。
- (2) 東京都府中市では、包括管理事業実施で、苦情件数が激減したとの報告。民間との連

携はできる範囲で実施していくべき。コールセンター（24時間365日稼働）の設置で、市役所への通報がなくなり、職員は業務に専念できるようになったことも注目すべき点。

(3) LAまちづくり研究所・増田昇氏の講演では、現在の街路樹の現状と役割から今後の課題まで報告を受けた。

- ①街路樹の持つ機能や効果
- ②街路樹の主要な課題（植栽基盤、剪定、樹種）
- ③御堂筋のイチョウ並木
- ④日本、世界の代表的な街路景観

4. 提 案

「街路樹の維持管理のあり方に関する意見及び要望」を上島市長に提出（予定）

- 1) 「(仮称)箕面市街路樹マネジメント計画」の策定
- 2) 中長期的なまちづくりの視点で、将来ビジョンと維持管理方針を示す
- 3) 策定にあたっては「(仮称)箕面市街路樹マネジメント計画検討委員会」の設置など、市民や専門家をはじめ、第三者の評価や意見を反映させる

5. おわりに

1年間街路樹について視察、研修、意見交換をする中で、街路樹の機能、役割を改めて実感することができた。今後は、本市において、街路樹をまちづくりにどう生かしていくのか、さまざまな議論が必要だと感じた。